



成長に寄り添う

あけまして

おめでとうございます。



ご家族揃って賑やかに新年を迎えられたことと思います。「一年の計は元旦にあり」令和二年の始まりにあたり「こんなことにチャレンジしたい」など子どもたちと話してみるのもよいですね。

今年も「楽しい保育」を目指し、子どもたちの姿やつぶやきの中から更にあそびが展開できるようにしていきます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

先月行われた幼児クラスの生活発表会では、たくさんの方にお越しいただき、ありがとうございました。保護者の皆さまの温かなまなざしと拍手により、子どもたちはのびのびと楽しそうに表現していました。会場の都合により、一部、二部とに分かれていましたが、続けてご覧頂いた方には、それぞれの年齢の特性、成長を感じていただけたのではないかと思います。行事は特別なものではなく、日々のあそびの延長線上にあるものとして捉えています。子どもたちの表現する姿、表情を見る中で、今年生活発表会は日常からの生活やあそびがつながっていったと実感しています。

子どもたちは日ごろのあそびを展開させながら、保育者や友だちと「こんなふうにしたらいいんじゃない」など対話し進めてきました。劇あそびの中のセリフや動きなどを子どもたちが相談しながらアイデアを出し合い、やってみて修正したり、お互いにイメージしていることをすりあわせながら創り上げていきました。この体験で、子どもたちは「やりたいこと」を実現していく充実感も味わいました。

年中組の子どもたちは、初めて鍵盤ハーモニカに触れ、練習を繰り返しながら楽しさや難し

さを感じていました。練習が終わった後、悲しい表情で「できなかった」と、つぶやいた子どもがいました。ピアノに合わせて友だちと一緒に吹くことは難しく「できない」と表現したのです。くり返し取り組むうち「できた」の声が聞かれ、満足そうな表情が見られるようになりました。「できない」を感じたあと「できた」という気持ちよさや達成感を味わうことでさらに挑戦する気持ちや粘り強く最後までやり抜く力が育っていきます。その場面に寄り添う大人がどんな言葉をかけるかが重要になってきます。子ども一人ひとりの成長のスピードには違いがあり、興味関心の的もそれぞれです。誰かと比べたり、大人の都合や思いで、子どもの行動をせかせたり否定することなく、自分とは違う一つの個性として認めることが大切です。子どもも大人も「たのしい」と感じあえる中で、ともに育ち合いたいと願っています。

今年度も残すところあと3か月になりました。進級、就学を楽しみにできるように、自信を持ってその時を迎えることができるようにしていくことが私たちの役割です。生活習慣の見直しや自分だけのことだけではなく周りの人や物に目を向けられるように環境を整えたり、準備を進めていきたいですね。

これからも、子どもたちがあそびや生活の中でどんなことを面白がって夢中になっているのか、その中でどんなことを学び、成長しているのかを保護者の方に伝えていき、子どもたちの育ちを一緒に支えていきたいと思ひます。

寒さが厳しくなってきますが、冬でしか味わえない出会いや出来事の中で、いろいろなことを感じ、深めていくことが子どもたちの思考力や想像力の源となればと思ひます。

園長

0歳児も試しながらくり返しあそび、学びを得ています



だれがほった穴かなはいれちゃった!



大根をどうやって食べる?と、いろいろ考えた結果...まずは大根すりにして食べてみました。子どもたちの反応は? 「切り干し大根もいいね」

収穫したよ



ほかほかご飯の上のせて...大根の上の部分と下の部分の味くらべ



十二支の由来

ある時、神様が動物たちを集めて、「お正月の朝、早く来たものから12番目の者をその年の大将とする」と、言いました。猫は、うっかりしていたので、ねずみに尋ねると、ねずみはわざと、次の日を伝えました。ねずみが牛のところに行くと、牛は、「歩くのがゆっくりだから早く出かけよう」というので、ねずみは牛の背中に乗りました。

朝になり、神様の御殿の門まで来ると、ねずみは牛の背中から飛び降りて「私が一番!」とちゃっかり言いました。そして牛が2番。次々ととら、うさぎ、たつ、へび、うま、ひつじ、さる、とり、いぬ、いのししと順番に入り、その年の干支にしてもらいました。

猫はというと、次の日に行っても誰もいないので、門番に尋ねると、「顔を洗って出直してこい!」と言われました。猫が顔を洗うしぐさをするようになり、ねずみを追いかけるのは、この時からだそうです。『園行事資料と展開』

チャイルド社 参照



鏡開き



1月11日は、鏡開きです。お正月にお供えしたおもちを割り、おしるこなどにさせていただきます。おもちを割るときに、一年の健康をお祈りすると元気に過ごせると言われています。園児の健やかな成長を願って、園では、10日におやつで、ぜんざいをいただきます。